

2025年度JCMシンポジウム

---

# JCM開発の課題と挑戦

住友商事株式会社

カーボンソリューション事業ユニット

井筒 沙美

2026/3/11

# Contents

01

私の原点：市場メカニズムに託した夢

02

住友商事が挑むカーボンソリューション

03

現実の壁：民間JCM開発者の苦悩

04

JCMを実現に導くポイント

05

共にJCMの実現へ

# GHG削減の加速×国際協力：CDM → JCMへ

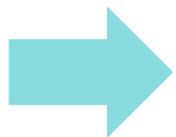
- 気候変動問題はボーダレスな地球規模の問題
- **市場メカニズムの活用で、国境を越えてGHG削減を加速させ、お金・技術・他Co-benefitを発展途上国に**

## UN主導の京都メカニズムの誕生

- 1997年 京都議定書採択。CDM含む京都メカニズムの誕生！
- 先進国のGHG削減目標達成に利用可能な市場原理を活用した柔軟措置

## 日本主導のJCMの誕生

- 国連等が主導する中央集権的制度ではない、より迅速で柔軟に二国間メカニズムを日本政府が提案
- 2013年 第一号JCM誕生！日本政府とモンゴル政府がJCMに合意
- 2023年 民間JCMガイダンス公表



2022年 住友商事に「カーボンソリューション事業ユニット」の前身誕生  
2023年～ 民間JCM開発開始

# カーボンソリューション事業ユニットの取り組み

- カーボンクレジット・再エネ証書のトレードを中心に、お客様のカーボンニュートラル化を支援
- 案件開発を通じたボランタリークレジット・**JCMクレジット**の創出を推進

## 機能・役割

カーボンクレジットの  
**創出**



- 弊社創出案件の中長期オフテイクのご提案
- お客様の脱炭素ソリューションを通じたカーボンクレジット創出の検討サポート
- 協業によるクレジット創出

環境商品の  
**調達・販売**



- カーボンニュートラル化に向けた、環境価値活用の検討サポート
- 豊富な取扱実績
- 高品質なカーボンクレジットの目利き・選定

気候変動に関わる  
**インテリジェンス**



- ルールメイキングへの参画
- カーボンクレジット活用に関わる基準策定
- カーボンクレジット勉強会の実施

## 取り組み事例

### マングローブ植林由来のカーボンクレジット創出



### 民間JCMの開発



### カーボン・クレジット市場 3年連続ベストマーケットメイカー



### Jクレジットプロバイダー (2025/6~)



### オフセット商品の提供 (リース、ユニフォーム等)



### 各種イベント・カンファレンスへの登壇 (写真: Asia Climate Summit2025)

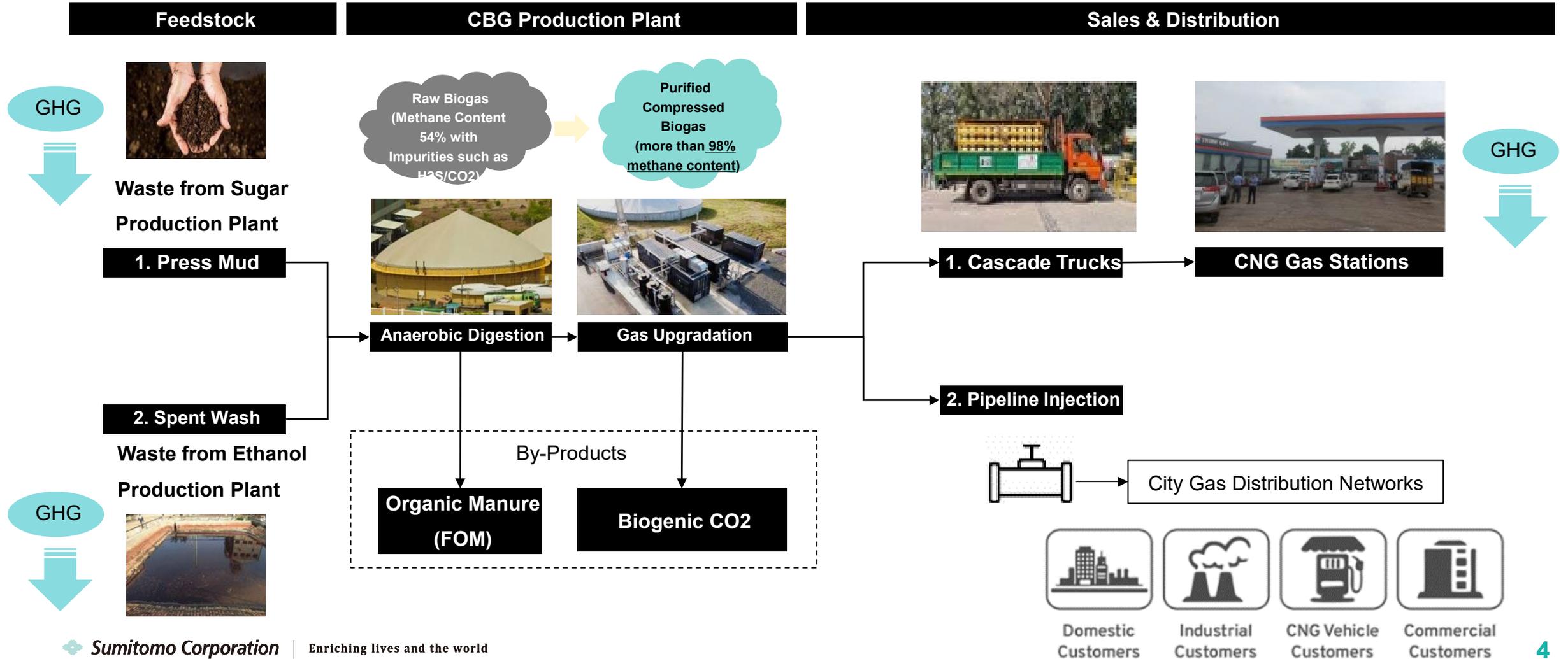


### IETA(国際排出量取引協会) Japan WG Co-chair



# 事例：インドにおけるバイオガスJCMの検討

➤ 経産省のJCM FS事業の補助金を活用し、インドのバイオガス事業のJCM化についてFS・方法論開発を実施



## 民間JCM開発の課題

- 通常の事業開発リスクに加え、不確実性の種類が“多層”、かつ“多数”。
- それが、投資判断を揺らす。

主なもの・・・

- ①市場リスク
- ②クレジット量の不確実性
- ③予測不能なプロセスの長期戦
- ④制度リスク（日本 & ホスト国）
- ⑤国際ルールリスク

# 民間JCM開発の課題

## ① 市場リスク

- JCMクレジットの価格の不確実性
- GX ETSにおける需要の不確実性

## ② クレジット量の不確実性

- 方法論承認まで、リファレンス排出量の不確実性
- ホスト国と日本間のクレジット配分の変動リスク

## ③ 予測不能なプロセスの長期戦

- 国ごとに異なる承認プロセス
- 日本・ホスト国双方での手続きタイムラインが不透明 → 競合制度に移られるリスク
- クレジット発行時期≒売上発生可能時期が予測不能

## 民間JCM開発の課題

### ④ a) 制度リスク（日本）

- GX ETS及びJCMはいつまで続くか？
- NDC達成に使えないJCMクレジットはGX ETSで使えるのか？

### ④ b) 制度リスク（ホスト国）

- 規定・制度の導入・変更リスク（クレジット配分割合、クレジット化手続きの手数料、追加の許認可・承認等）
- カーボンクレジット等の気候変動対策の国内制度やインベントリ整備相当調整手数料の負担

### ⑤ 国際ルールリスク

- パリ協定の国際交渉結果がJCMの位置づけに影響するリスク
- クレジットの質、ダブルカウント等に関する国際議論のJCMへの影響

## 課題を乗り越えるために必要なこと

- 民間JCM推進には、一社では解決できない構造課題が多い。
- しかし、課題は官民連携で越えられる余地はある。

### 民間JCMの主要課題

- ① 市場リスク
- ② クレジット量の不確実性
- ③ 予測不能なプロセスの長期戦
- ④ 制度リスク（日本 & ホスト国）
- ⑤ 国際ルールリスク

### 対応策案

- ① JCMクレジット市場の設立、国による一部買取制度
- ② JCMの保守性の明確化・共通化
- ③ ストリームライン・スピードアップ（継続的な制度改善）、タイムラインの明示
- ④ 官民伴走体制、日本・ホスト国政府＋民間の政策ダイアログ
- ⑤ 官民で国際社会へのロビイング

## JCM推進に向けた挑戦：官民連携で道を開く

- **日本企業 + 日本政府**：日系企業同士が協働し、日本政府と共に、実用的な仕組みに進化させる必要。
- **日本企業 + 日本政府 + JCMパートナー国政府**：官民連携で、ホスト国政府と協議し、ホスト国側の課題に対処。

今は連携する時期。  
共に山を乗り越え、  
民間JCMの実現へ！

民間JCMに挑む企業と政府の努力が報われる  
仕組みを一緒につくっていきましょう。



**Enriching** lives and the world